



2004.12.15

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/maizou-bnk/index.html>

## 発掘調査最新速報 Part 1

### 富士河口湖町：塚越遺跡



縄文時代柄鏡形敷石住居

センターでは河口湖バイパス建設工事に伴って、平成16年6月から塚越遺跡の調査を進めてきました。

遺跡からは縄文時代の土器や石器が大量に出土すると同時に、床に石を柄鏡の形に敷き詰めた家の跡も確認できました。また、弥生時代の土器や石器のほか、ヤジリや石器を作った時にできた石の破片も大量に出土しました。

河口湖周辺にはこれまで弥生・縄文時代のムラは発見されていませんでしたが、塚越遺跡は富士山の噴火による火山灰などで地表から2～3.5m下に埋もれていました。ひょっとすると、まだ発見されていないムラが地中深くに眠っているのかもしれない。



弥生時代土器出土状況

# 埋蔵文化財センター 資料普及課事業の紹介

センターでは、考古資料等を活用した体験型学習支援事業を実施しており、学校での出前支援授業や職場体験学習など中身は様々です。4月以降、県内の13校で土器作り等の出前支援を実施してきましたので、その内容を一部ご紹介いたします。

## 土器作り～南アルプス市立白根東小学校編～

平成16年5月25日・6月15日、南アルプス市立白根東小学校では6年生を対象に土器作りと火起こし体験をおこないました。

ほとんどの生徒さんが初めての体験だったので慣れない手つきながらも、思い思いの土器を作っていました。野焼きでは、燃え上がる炎の中で自分の作った土器を見つめていました。さて出来上がった感想は・・・。



上手に作れるかな？

### 感想文

土器作り

ぼくたちは、最初先生が縄文土器を作ることをたのびながら、くりしました。一回も、たのびないのに、たのびるかなと思、たのびた。縄文土器に、くわい先生がさくくれたので、たのび、最初土ねんどをさき、て、砂とい、し、た、おい、はい、わりました。

そして、そさを作、て、だんたん、つ、ほの、形、た、し、

よん、た、ぼくは、家族全員のを、がり、よ、した、その家族全員の土器に、野球の背番号を、つけ、ました。そして、土器を、焼く、日、が、さ、ま、し、た、

回、工、室、か、ら、し、ん、ち、う、に、土器を、運、び、ま、し、た、

そ、し、て、ど、き、を、焼、い、て、い、る、と、き、ま、さ、つ、で、火、を、

お、こ、す、物、で、石、ご、石、を、お、こ、す、物、を、り、ま、し、た、

そ、し、て、土器と、火、の、中、に、い、れ、最、後、に、土器、を、と、り、

ま、し、ま、し、た、家族、全、員、の、か、わ、れ、て、ま、じ、ん、で、し、

た、と、こ、も、つ、れ、し、か、た、ご、す、そ、し、て、ま、じ、ん、で、

土器、を、作、り、ま、し、た、い、です。



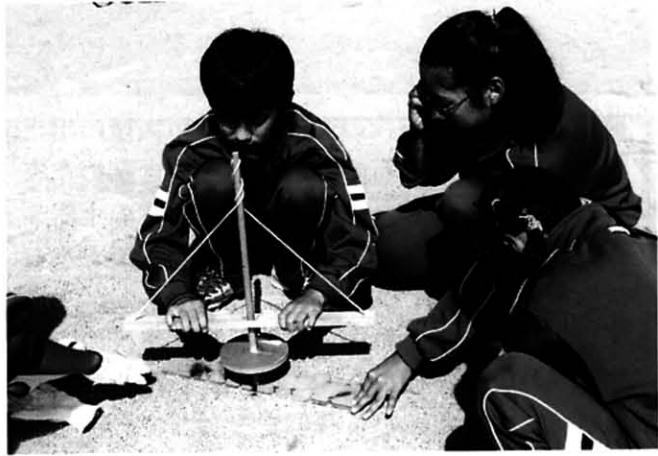
焼き上がり土器の完成

多くの感想文が寄せられました、その一部を紹介します。

## 火起こし体験

### ～南アルプス市立大明小学校編～

平成16年10月14日、南アルプス市立大明小学校では6年生を対象に竹筒炊飯と共に火起こし体験をおこないました。もみぎり式・まいぎり式・火打ち石などで火起こしにチャレンジしましたが、なかなか火を起こすことはできず、悪戦苦闘していました。昔の人の苦勞が実感できたかな！？



まいぎり式の火起こしの様子

## 石器作り～上野原町立桐原中学校編～

平成16年6月22日、上野原町立桐原中学校では、1・2年生を対象に石器作りと、作成した石器による魚の解体体験をおこないました。

最初に、縄文時代の石器についての概要とその作り方について説明してから、4・5人のグループに分かれて、石器作りを始めました。まず、石器作りの素材となる黒曜石（ガラス質の火成岩）の塊を石でたたき、石器を作るのに手頃な大きさのかけらを作り出します。その後、鹿の角を用いて形を整え石器が完成しました。生徒の皆さんは、形を整えるのに苦労していましたが、全員がナイフのような形をした石器を時間内に作り上げました。

その後、完成した石器で魚の解体をおこないましたが、その切れ味の良さに、皆さん驚いていました。



自分達で作った石器で魚の解体体験

## 先生のための文化財活用支援講座

平成16年8月3・10日、学校の授業等で積極的にセンター所蔵の出土品を活用していただくため、その利用資格を取得する講座を開催しました。

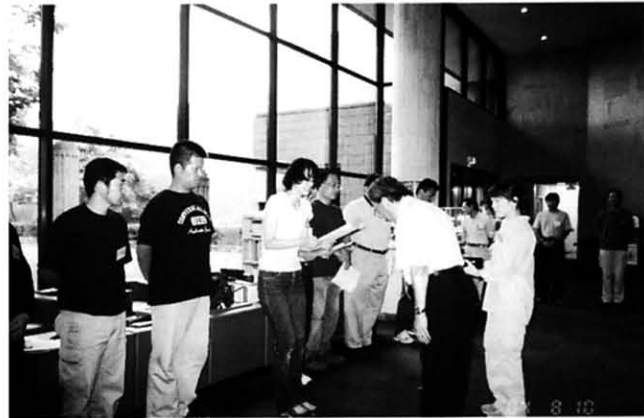
応募された県内小・中学校の13名の先生は2日間の中で、出土品の取り扱いや活用方法をはじめ、土器・石器製作と出土品の梱包実技を受講し、最終日に認定書の交付を受けました。出土品の教材活用を考えている先生方は是非来年度に受講してください。

第1日目(8月3日)			第2日目(8月10日)		
9:30	挨拶・説明		9:30	準備	
10:00	出土品の取り扱いⅠ 講習	考古学概説 解説 準備	10:00	土器焼成Ⅰ 実習	火起こし作業
11:00	出土品の取り扱いⅡ 実習	梱包実務 運搬方法	11:00	土器焼成Ⅱ 実習	焼成作業
12:00	昼食		12:00	昼食	
13:00	土器製作Ⅰ 実習	粘土作り 施文具作り	13:00	石器製作 実習	石割作業
14:00	土器製作Ⅱ 実習	成形作業	14:00	質問(フリートーク) 講習	
15:00	土器製作Ⅲ (土偶・土鈴・装身具) 実習	成形作業 乾燥作業	15:00	授業での文化財 活用方法 講習	
			15:45	認定書交付・閉会	

講座日程表



土器の梱包実技の様子



認定書交付の様子

# 発掘調査最新速報 Part2

## 国登録有形文化財・勝沼堰堤

かつめまえてい

センターでは、8月上旬より東山梨郡勝沼町にある国登録有形文化財・勝沼堰堤の発掘調査をおこないました。

勝沼堰堤が造られた日川は、昔から洪水の多い川で、流域に住む人たちは被害を受けてきました。そこで、明治44年から国の直轄で砂防工事が始まり、勝沼堰堤は大正4年9月7日に着手し、同6年3月31日に完成しました。構築された堰堤は、当時の内務省が中心となって設計をおこないました。旧川の流れを締め切り、その締め切った部分の基礎にコンクリートを使用し併せて新設された岩盤上に流路をつくりました。勝沼堰堤は建設当初の状態が良く保存されている点と、人工物でありながら自然を巧みに利用し、あたかも自然の滝のような景観を作り出していることから、平成9年に貴重な近代土木遺産として国登録有形文化財に登録されました。

発掘調査は、県土木部がこの貴重な勝沼堰堤を公園にする事業に伴い実施しました。調査を進めると、堰堤の上面約1000㎡の広大な面積に径約25～70cmの割石を主体とした石張が確認でき、なかには当時あまり普及していなかったドリル痕が残っているものもありました。

また、工事の記録を示す銘板や、現在のメートル表記ではなく当時の尺貫法で作られた水深計、建設当時のレベル（水準）標識、そして堰堤の上には竜神様も祭られるなど、当時の土木技術や景観を大変よく残した、日本を代表する近代土木遺産といえます。



※えんてい…河川を横断して水流や土砂をせき止めるダムのこと。

### 編集後記

いよいよ本格的な冬の到来となりましたが、縄文人は冬の寒さにどのように対処していたのでしょうか。焚き火を開き、身を寄せ合って家族団欒していたのでしょうかね。

今後も、皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

E-mail: maizou-bnk@pref.yamanashi.lg.jp(編集担当)

山梨県埋蔵文化財センター

埋文やまなし 第19号

発行日 2004（平成16）年12月15日

編集 山梨県埋蔵文化財センター

発行 〒400-1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923

TEL055-266-3016 FAX055-266-3882

印刷 株式会社南堂印刷所